

# 連日高温！ こまめな水管理で稲体活力維持！

## 1 出穂期の水管理

- 出穂期は、5月20日頃田植えのコシヒカリで、8月4日頃です。
- 8月は平年に比べて晴れの日が多く、平均気温の高い確率が70%です(7月29日、新潟地方気象台発表)。
- 飽水管理(※)を徹底し、根の活力維持と上根の発生促進を図るとともに、地温の上昇を抑えましょう。
- 高温下における長期間の湛水は根腐れの原因となるので、こまめなかん水を繰り返しましょう。

### ※飽水管理とは？

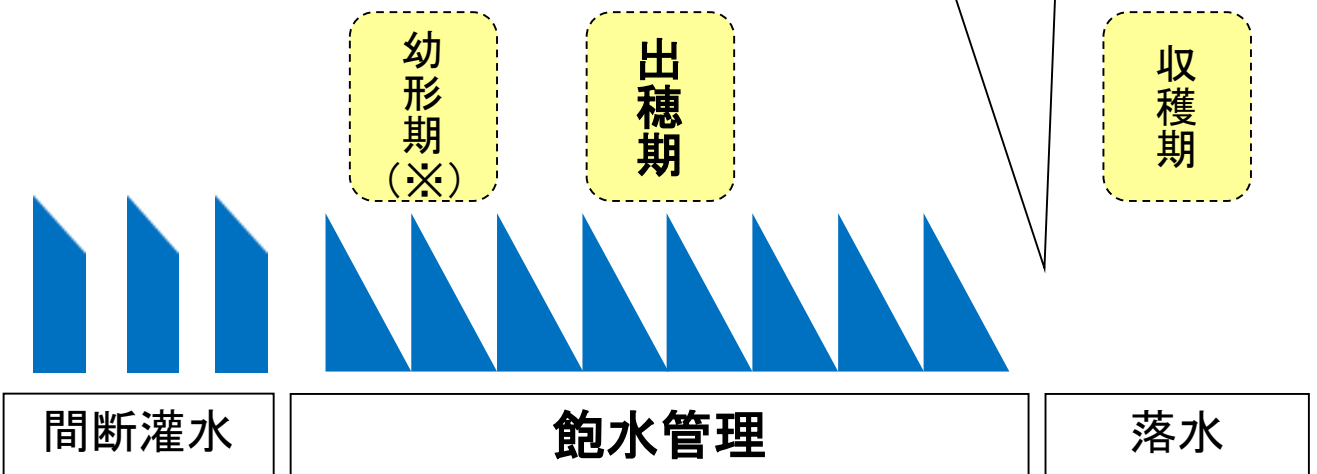
水尻を止水し、自然減水で田面の水がなくなり、溝や足跡の底に水がたまっている箇所が散見されるようになったら、かん水する水管理のこと。



写真：飽水管理の足跡に水がたまっている状態

### 水管理のイメージ

※幼形期：幼穂形成期の略。出穂の23日前頃。



落水は  
出穂後25日以降

収穫期

幼形期  
(※)

出穂期

間断灌水

飽水管理

落水

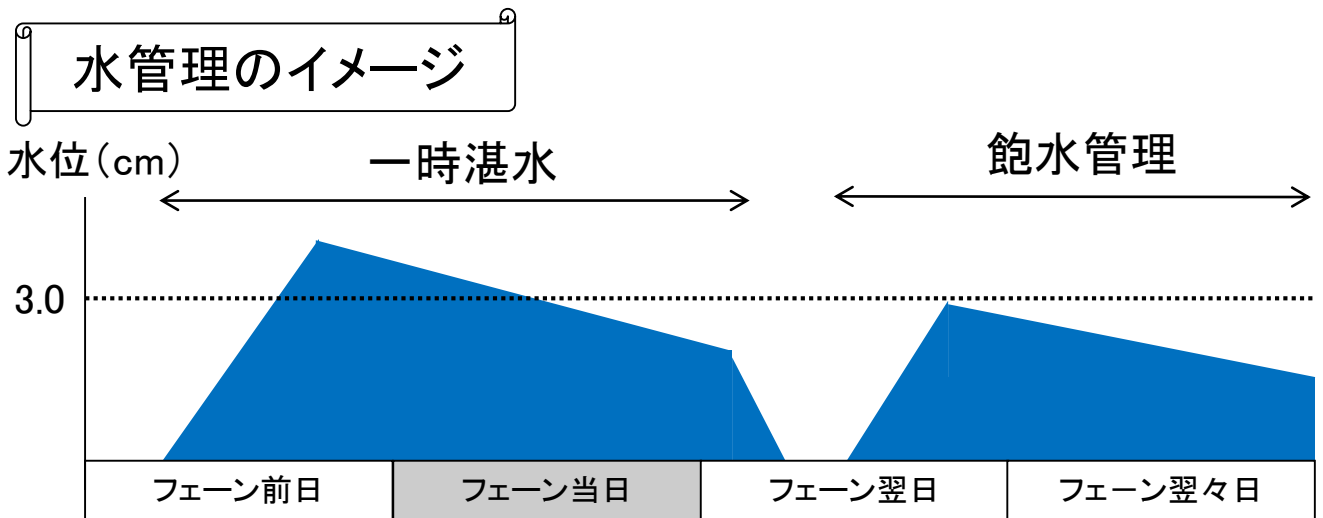
# 稲作情報

## 2 異常高温時の水管理について

- ・令和元年は、コシヒカリの高温に対する感受性が最も高い時期にフェーンによる異常高温被害が発生し、品質が大幅に低下しました。
- ・異常高温による被害軽減のために、緊急的な技術対応として、ほ場の水温上昇を抑える水管理を徹底する必要があります。
- ・地域の水利条件を考慮しつつ、河川等から取水可能な用水を最大限利用して、こまめな水管理を行いましょう。

### (1) 短期間(1日以内)のフェーン時の水管理

- ・方法：異常高温、強風フェーンが予想される場合はあらかじめ湛水し、稲体からの急激な蒸散による高温障害の発生防止に努める。フェーン通過後は飽水管理に移行する。
- ・用水量：湛水深は可能であれば3cm以上に保つ。



### (2) 高温・乾燥が2日以上続く場合の水管理

- ・方法：ほ場の水温上昇を抑えるこまめな水管理を行う。

JA稲作携帯メールサービス、【新規】希望者も大歓迎！

フェーン緊急情報もいち早く配信します。

右のQRコードから、ぜひご登録を！！



申込者用 QRコード

★ 農作業事故や熱中症に注意をしましょう。こまめな休憩と水分補給が大切です。